

生活学科の先生からのおすすめ図書紹介

遠山 佳治先生

そこに僕はいた

辻仁成
新潮社（新潮文庫）
203 ページ
請求記号：S9/6149

忙しい毎日を送る私たちにとって、気軽に手に取って、懐かしい気分させる短編のエッセイ集はいかがでしょうか。私のお勧めは、辻仁成『そこに僕はいた』です。高度成長期という日本を舞台に、著者が小学生～高校生の時期を題材して、青少年期の心の柔らかい動きを、温かく見守りながら描き出しています。

その中でいくつか紹介してみましょう。まずは、本の題名にもなっている「そこに僕はいた」では、片足を失った友達あーちゃんを意識しながら遊ぶ主人公僕の心の動き、片足を失った経緯等を知ること、短期大学部のディプロマポリシーである「他者への思いやりの精神」を持つことに通じるものがあります。もちろん、生活学科だけでなく保育学科の学生にもお勧めです。次に、「おく手でかつ、ひねくれ者の恋の行方」では、ほのかに恋心を抱いていた少女に、素直に接しられず嫌がらせをしてしまう少年の心の葛藤を描き、大人の自分が子どもの自分を愛おしく思う雰囲気漂っています。「高校デビュー」では、何かしら気になっていた少女が自分を変貌させていく様を見て、圧倒されてしまう少年の心が見てとれます。

学生諸氏も、小学校～高校の世界を思い浮かべ「こんなことがあったなあ！」と追体験できるのではないのでしょうか。



早川 享志先生

インドの食卓：
そこに「カレー」はない

笠井亮平
早川書房
238p
請求記号：購入準備中

悪い食事の例として「おかあさんやすめ ハハキトク」という言葉を良く耳にします。この言葉の2番目の「か」は、カレーライスを指します。カレーライスは大人も子供も大好きな、おなじみの料理の一つです。カレーはどこで生まれたのかと聞かれると多くの方は、インド料理だから「インド！」と答えるでしょう。しかし、インドにカレーという料理はないようです。多くの方は、「えっ」と思うに違いありません。この本はこうした疑問に答えてくれます。インドは最近まで（第2次世界大戦の後に独立国となりました）イギリスが統治していました。ティータイムというとイギリスが思い浮かびますが、イギリスは紅茶の産地ではありません。イギリスはインドが生産する紅茶の消費地なのです。インドの香辛料についても同じくインドが生産地、イギリスが消費地でした。カレーのもとになるカレー粉を作ったのはイギリスで、ここからカレー粉は世界に広がったのです。この本を読めばインドの食がわかるようになります。



小田 久美子先生

学問のすすめ：現代語訳

福澤諭吉著；齋藤孝訳
筑摩書房
251 ページ
請求記号：S9/2834

この本は、近代日本におけるベストセラーと評価されているので、中学生や高校生の時に読まれた方も多
いと思います。

あえて、大学生の皆さんにお勧めする理由は、大
学生になって、改めて読んでみると違う印象を得たり、
大学で学ぶとき、将来の進路や就職を考えたりする
ときに役に立つのではないかと思ったためです。

特にこの本は、現代語訳で分かりやすく、古臭くあ
りません。現在は、以前とは違う社会生活を送ること
になり、困難に思えることもありますが、この本が書
かれた時代も現代の私たちと同様に、困難を乗り越え
てチャレンジしなければならなかった時代でした。そう
した感覚で読んでみると、大学生としての学びや将来設
計に生かせることがたくさん書かれているように思
います。

森屋 裕治先生

エジソン

桜井信夫
ポプラ社
166 ページ
請求記号：S2/9398

エジソンは、蓄音機や白熱電球をはじめ、数多くの発
明品を世に生み出した天才発明家です。

エジソンは、小学校で先生に質問攻めするあまり、
3ヶ月で学校を辞めてしまい、その後もさまざまな苦難
が続きます。

しかし、母親をはじめ周囲の人たちの支えもあり、後
に研究所を設立し、数々の発明品を生み出します。

私が小学生の頃に、家にはいくつかの伝記の書籍があ
ってありましたが、その中で私はこのエジソンの伝記を
何度も何度も読み返していました。

この「エジソン」は、世界の偉人の一人に過ぎません。
みなさんもきっと、多くの偉人の伝記から学ぶことが多
くあるはずですよ。

ぜひみなさんも、今後の人生のために、こうした伝記
も読んでいただきたいと思います。

阪野 朋子先生

深夜特急シリーズ〈1〉～〈6〉

沢木耕太郎
新潮文庫
〈1〉 239 ページほか
請求記号：S9/3895 他

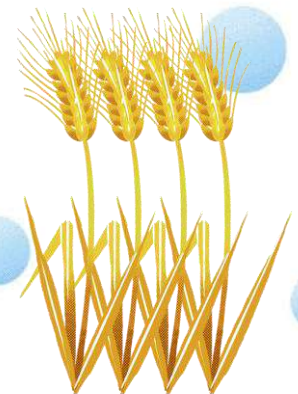
沢木耕太郎による紀行小説です。シリーズ6冊を通して、アジア～ヨーロッパ
を基本的にバスで一人旅を続ける中での土地柄、人との触れ合いなどが書かれて
います。

私がこの本を読んだのは、ちょうど皆さんと同じ大学生の頃でした。当時はま
だ海外に行ったこともなく、本を読みながら情景を思い浮かべ、旅行気分にな
っていたのを思い出します。

それだけでなく、主人公の気持ちを自分と重ね合わせ、世界の広さ（＝自分の
小ささ、むなしさ）を感じながら、旅（＝人生）の目的を考えていたような気が
します。この小説はただの旅行記とは違い、考えさせられる作品だと思います。

しかし、難しいということではなく、どんどん本の旅の世界に引き込まれて、ペ
ージが進んでいくことでしょ。自分が旅をした国があればなお面白く読めるの
ではないでしょうか。

「深夜特急」は広い世界の旅を擬似的に経験させてくれる、とても刺激的な本
です。是非、学生時代に読んでください。



上野 真由美先生

ディズニー おもてなしの 神様が教えてくれたこと

鎌田洋
ソフトバンククリエイティブ
204 ページ
請求記号：S6/10830

この本のテーマは「おもてなし」です。「おもてなし」は東京オリンピック招致プレゼンで話題になりました。この本では、ディズニーならではの「おもてなしの精神」、また、世界各地にあるディズニーランド（ワールド）の中でも、東京ディズニーランドならではの「おもてなしの精神」を物語を通して描いています。日本でいちばん満足度が高いと言われるのが「東京ディズニーランド」です。パークを訪れたことのある人なら、誰もが“ディズニー”という言葉を見聞きしただけで、なんだか心が浮き立つような、そして温かい気持ちに包まれるような不思議な感覚を覚えるのではないのでしょうか。

この本では、「サービスとおもてなしは何が違うのか?」「ゲストに提供するおもてなしの境界線は、どこからどこまでなのだろうか?」「そもそも、なぜ自分はサービス業をしているのだろうか?」など、ディズニーランドのキャストが「本当のおもてなし」に気づき、学び、それを実践できるまでに成長していく姿を、3編の感動物語を通して紹介しています。

石崎 智恵利先生

科学でわかる男と女の心と脳

麻生一枝
SBクリエイティブ
208 ページ
請求記号：S4/11121

この本は、男女についての様々な疑問に科学的な視点から答えてくれる本です。男はなぜ若い子が好きか?女はなぜ金持ちが好きか?という私たちの好奇心をくすぐるような副題がつけられています。この副題の問いに対する皆さんの答えは何でしょうか?

作者である麻生一枝先生は動物行動学を専門とされる先生です。動物行動学というと難しく聞こえますが、この本では、ヒトの恋のはじまりからかけひき、そして恋の終わりまで、男女はどのようにひかれあい、異性の心をつかむためどのように行動するのか、結婚、妊娠、浮気、嫉妬のメカニズムについて読みやすい文章で紹介されています。また性同一性障害や同性愛についても科学的な視点から記述がなされています。この本は引用文献、調査データも詳細に挙げられており、深く知りたいと思ったことを引用された文献やデータから追求することが出来る点が良い点です。

男女関係や人間関係に悩んだとき、そして、周りの異性、同性、自分自身をもっと理解したいと思ったとき、ぜひご一読ください。

箕浦 恵美子先生

印象力で夢をかなえる。

重田みゆき
三笠書房
254 ページ
請求記号：S3/9397

『幸せだから笑うなんてナンセンス、幸せになるために笑うんです!』『笑顔でいると幸運が集まってきます!』——本文より引用——

今までは楽しいから笑う、面白いから笑う、だったのだけれども、ちょっと笑顔について考えてみようと思える本です。考えながら笑うのはぎこちないひきつった表情になるかもしれませんが、慣れてしまえばこっちのもの(?)

まずは口角を少し上げ、ニコッとしてみましょ。あとは本に書いてあるストレッチを行い、表情筋を鍛え、明るい表情を作ればOK。きっと良い結果が現れるでしょう。

ぜひ、心が元気な時に読んでください。思い出したときに実践すると、少しだけ前向きになれます。そしてその「少し」が積み重なり、やがて大きな幸せをもたらすはず。あなたが『生き生きとしたフリ』をすれば自然にあなたの『周りには生き生きとした幸せな仲間がたくさん集まって』くるのですから。



学科関連おすすめブックリスト

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
コンピュータが仕事を奪う/How computers can take our jobs	新井紀子	日本経済新聞出版社	221	007/295
自動人形(オートマトン)の城:人工知能の意図理解をめぐる物語	川添愛	東京大学出版会	294	007/379
インターネット新世代	村井純	岩波書店	240	080/132/1227
デジタルは人間を奪うのか	小川和也	講談社	208	S0/12348
働きたくないイタチと言葉がわかるロボット:人工知能から考える「人と言葉」	川添愛著 花松あゆみ絵	朝日出版社	269	S0/18933
白と黒のとびら:オートマトンと形式言語をめぐる冒険	川添愛	東京大学出版会	316	S0/18934
スマホ断食:コロナ禍のネットの功罪	藤原智美	潮出版社	204	S0/21462
カンボン通りのチャンネル	リルー・マルカン	マガジンハウス	203	S2/19120
18歳までに知っておきたい法のはなし	神坪浩喜	みらいパブリッシング	255	S3/2147
ずるい考え方	木村尚義	あさ出版	195	S3/6137
ちぐはぐな身体(からだ):ファッションって何?	鷲田清一	筑摩書房	191	S3/6139
親と子の「よのなか」科	藤原和博 三室一也	筑摩書房	222	S3/6274
モードの迷宮	鷲田清一	筑摩書房	230	S3/9474
「育ちがいい人」だけが知っていること	諏内えみ	ダイヤモンド社	254	S3/20345
狙われる18歳?:消費者被害から身を守る18のQ&A	日本弁護士連合会 消費者問題対策委員会	岩波書店	63	S3/20376
食べるとはということか:世界の見方が変わる三つの質問	藤原辰史	農山漁村文化協会	175	S3/21480
スマホ脳	アンデシュ・ハンセン著, 久山葉子翻訳	新潮社	255	S4/21338

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
解きたくなる数学	佐藤雅彦, 大島遼, 廣瀬隼也	岩波書店	133	S4/21479
細胞の中の分子生物学：最新・生命科学入門	森和俊	講談社	244	S4/21534
ファッションデザイナーの仕事がわかる本	obscure inc+ 小野田史	ソシム株式会社	175	589/76
ファッション・クリエイションのひみつ	大島幸治	東京堂出版	252	589/88
ファッションボックス：永遠のモード：愛すべき時代のアイコン	アントニオ・マンチ ネリ文；JEX Limited訳	青幻舎	479	593/1730
コーディネイト刑事 (deka)・押田比呂美のスタイリング更生塾	押田比呂美	小学館	167	593/1754
イロハのインテリア：直径50cmからの部屋づくり	川上ユキ	文化出版局	107	597/110
ひとはなぜ服を着るのか	鷲田清一	日本放送出版協会	277	S5/3574
フランス人は10着しか服を持たない：パリで学んだ“暮らしの質”を高める秘訣	ジェニファー・L・スコット著；神崎朗子訳	大和書房	239	S5/10754
フランス人は10着しか服を持たない2：今の家でもっとシックに暮らす方法	ジェニファー・L・スコット著；神崎朗子訳	大和書房	232	S5/12347
顔診断×骨格診断で最高に似合う服を選ぶ!	富澤理恵	三笠書房	196	S5/20340
ジュエリーの歩み100年：近代日本の装身具一八五〇-一九五〇/One hundred years of jewellery in Japan: 1850-1950	関昭郎	美術出版社	230	755/9
デザインを科学する	ポーポー・ポロダクシオン	ソフトバンククリエイティブ	208	757/680
色で巡る日本と世界：くらしの色・春夏秋冬	垣田玲子	青幻舎	207	757/724
オードリー・ヘップバーンの言葉	山口路子	大和書房	207	S7/13872
インドの食卓：そこに「カレー」はない	笠井亮平	早川書房	238	購入準備中
捨てられる食べものたち：食品ロス問題がわかる本	井出留美著 matsu絵	旬報社	117	購入準備中

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
フツーの主婦が、弱かった青山学院大学陸上競技部の寮母になって箱根駅伝で常連校になるまでを支えた39の言葉	原美穂	アスコム	205	購入準備中